

基本目標 6

防災・安全

市民の安全が確保され
地域ぐるみで支え合う
安心して暮らせるまち

館山のまちづくり絵画コンクール 優秀賞作品



館山小学校2年 かとう げんき 加藤 玄基 「えがおあふれるやさしい町。」

いじめや交つうじこなどなく、みんながやさしくてへいわな町

※学年は平成 27 年度時点

第1節 防災体制の強化

- (1) 防災力の強化
- (2) 津波対策の推進

第2節 消防・救急の充実

- (1) 消防環境の充実
- (2) 消防団活動の充実
- (3) 消防・救急体制の充実

第3節 交通安全・防犯体制の強化

- (1) 交通安全・防犯体制の強化

第4節 消費者保護対策の推進

- (1) 消費者保護対策の推進



第 1 節 防災体制の強化

現状と課題

- 近年、地震・津波・土砂災害等の自然災害により、全国各地で甚大な被害が発生しており、市民の防災に対する意識も高まっています。長い海岸線を有する館山市では、特に津波への対策が重要です。
- 自然災害からの被害を最小限にとどめるためには、日頃の災害予防の取組と災害発生後の適切な応急対策が重要です。これらの実践には、自助（市民一人ひとり）・近助（隣近所）・共助（自主防災組織、町内会等）・公助（防災関係機関）の防災力のさらなる強化が必要不可欠です。特に災害発生時の初期対応には、自助・近助・共助による自主防災が大きな力を発揮するため、平常時から、市民一人ひとりが防災訓練や防災講座などにより防災意識を高め、避難経路や情報伝達手段の確認、食糧備蓄などの備えを進めるとともに、コミュニティ活動などを通じて、日頃から地域の結束力を強化しておくことが求められます。
- 災害発生時の緊急情報伝達手段の要である防災行政無線は、設備の老朽化や難聴地区解消への対策を着実に進めていく必要がありますが、今後は、他の媒体の利用促進を含め、確実に情報が伝わる手段の検討が必要です。
- 大規模災害が発生した場合、市は災害応急対応と並行し、通常業務も継続することが必要です。災害対応と通常業務を両立させるためには、平常時から、災害に備えた各種備蓄や資機材の整備、災害発生時の運営体制や支援等受入体制の確立など、災害対応力の強化を進めるとともに、通常業務の継続マニュアルを確立しておく必要があります。

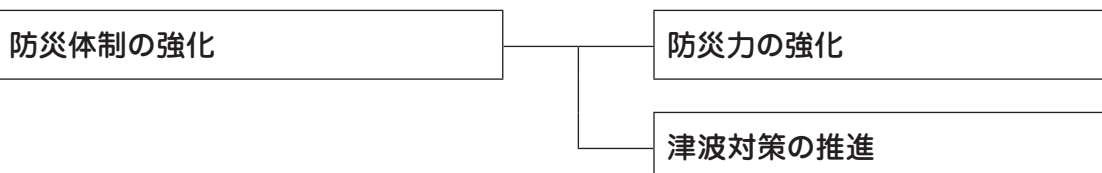


備蓄品の確認

基本方針

- 大規模災害に備え、津波対策や減災対策を計画的に進めます。
- 自助・近助・共助・公助の防災意識を高めるとともに、災害対応力の強化に努めます。

施策の体系



施策の展開

(1) 防災力の強化

計画事業名	事業内容	担当課
地域防災力強化事業	防災訓練や防災講座、各種広報活動を通じ、防災知識の普及及び防災意識の向上を図り、自主防災組織の機能強化に取り組みます。	社会安全課
災害対応力強化事業	<p>災害発生時に備え、『館山市地域防災計画』を見直し、備蓄食糧や各種資機材の整備拡充を図るとともに、災害時の応援協定の充実により、災害対応力の強化に取り組みます。</p> <p>また、避難生活における良好な生活環境を確保するため、避難所運営マニュアルを策定します。</p> <p>さらに、災害時の行政機能低下時でも市民生活を維持するため、「業務継続計画」を策定します。</p>	社会安全課 総務課
災害情報伝達手段の整備	老朽化した防災行政無線屋外拡声子局のデジタル化や防災行政無線を補完するための安全・安心メール、防災ラジオ、戸別受信機等の普及促進により、災害発生時の情報伝達手段を確保します。	社会安全課

(2) 津波対策の推進

計画事業名	事業内容	担当課
津波防災まちづくり事業	<p>南海トラフ地震や元禄地震などの最大規模の津波を想定した「津波避難計画」を策定し、必要に応じた避難誘導標識の設置や避難施設の整備を検討します。</p> <p>また、館山市の海岸における防護、利用及び環境を考慮した津波・高潮対策についての協議を進め、千葉県が実施する津波対策（護岸整備）事業に対する働きかけを行います。</p>	社会安全課 建設課 みなと課

成果指標・目標

指標名	現状値	目標値
自主防災訓練実施率	37%	50%
備蓄食糧量（アルファ米）	1.2万食	3万食
防災行政無線デジタル化率	70%	100%

第 2 節 消防・救急の充実

現状と課題

- 近年、異常気象等による自然災害が数多く発生し、消防需要は火災出動のみならず、年々増加傾向にあり、消防力の増強が強く求められています。
- 館山市の常備消防は、安房郡市広域市町村圏事務組合により、広域的に対応していますが、災害発生時の初動対応には、地域の事情に精通し、機動力の高い消防団の活動が重要であり、拠点となる詰所や消防ポンプ自動車の老朽化への対応など、計画的な更新が必要です。また、人口減少・少子高齢化が進む中、地域の安全・安心を確保するためには、消防団の活躍がますます重要となってきます。しかし、近年は、地域活動に対する意識の希薄化、消防団の必要性・活動内容に対する理解の低下、価値観の多様化等により、消防団への加入者が年々減少しています。現在、館山市の消防団には、女性消防団員は在団していませんが、消防団の活動には、応急手当、火災予防の普及啓発活動、地域の高齢者の状況把握など、女性の視点・活躍が期待される内容も増えてきており、多様な人材の加入が望まれています。
- 高齢化の進展に伴い、救急搬送が増加傾向にあり、計画的な緊急車両の整備や地域医療との密接な連携により、適切な救急搬送体制の構築が必要です。

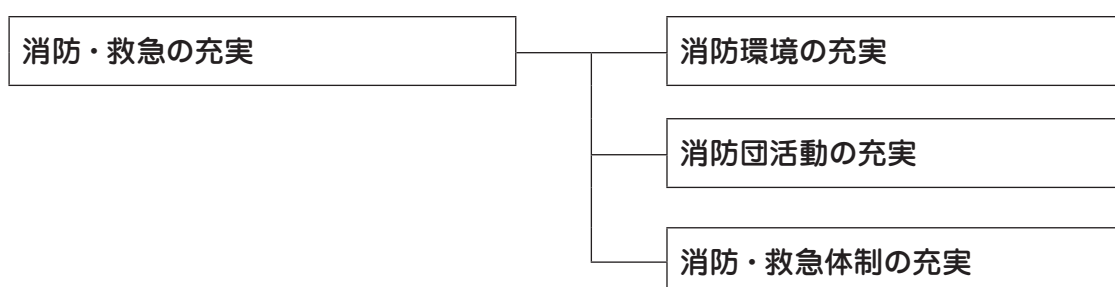


消防出初式

基本方針

- 多様化する各種災害に迅速に対応するため、消防環境の充実を計画的に進めます。
- 消防団活動の周知と待遇改善により、消防団員を確保します。
- 安房郡市広域市町村圏事務組合と連携し、消防・救急体制の充実を図ります。

施策の体系



施策の展開

(1) 消防環境の充実

計画事業名	事業内容	担当課
消防団拠点施設の整備	老朽化した詰所や津波浸水予想地区に建設されている詰所などについて、安全性を確保した拠点施設とするため、計画的な建て替えを進めます。	社会安全課
消防ポンプ自動車整備事業	消防団の迅速な災害対応活動を確保するため、老朽化した消防ポンプ自動車を計画的に更新します。	社会安全課
消防水利の整備	迅速な消火活動を確保するため、防火水槽や消火栓を整備します。	社会安全課

(2) 消防団活動の充実

計画事業名	事業内容	担当課
消防団員の確保と待遇改善	消防団の必要性や活動内容を広くPRするとともに、消防団員の待遇・福利厚生の充実を図り、加入者の増員に努めます。 また、女性も地域の消防団員の一員として、積極的に活躍できる環境づくりを進めます。	社会安全課
消防団員の育成及び市民の防火意識の高揚	消防団員の消防・防災に関する知識や技術の向上を図るとともに、装備の更新に努めます。 また、火災予防運動の実施等により、市民の防火意識の高揚を図ります。	社会安全課

(3) 消防・救急体制の充実

計画事業名	事業内容	担当課
消防・救急体制の充実	安房郡市広域市町村圏事務組合に対し、常備消防に関する費用を負担するとともに、構成市町と連携し、消防業務や救急業務の充実・強化を図ります。	社会安全課

成果指標・目標

指標名	現状値	目標値
防火水槽耐震化率	9%	14%
消防団員の充足率	88%	100%
女性消防団員数	0人	18人

第 3 節 交通安全・防犯体制の強化

現状と課題

●東関東自動車道館山線をはじめとする幹線道路網の整備により、幹線道路だけでなく、生活道路への交通量も増加しており、新たに交通事故の多発が懸念されるような危険箇所等への事故防止対策が急務となっています。また、交通弱者である高齢者・児童・幼児への交通安全教育の強化は必要不可欠です。一方、カーブミラーや標識、道路照明、その他の安全施設の多くに老朽化がみられ、新たな整備や修繕の対応が必要です。



通学路での見守り

●全国的に凶悪犯罪や若年層の犯罪が増える中、日常生活における安全性の確保は大きな問題です。特に、児童生徒に関する犯罪については、市・学校・警察のみならず、保護者や地域などが連携した地域ぐるみの見守り、防犯体制が必要です。



防犯パトロールカー（通称：青パト）

しかし、社会の変化や価値観の多様化により、地域社会における連帯意識が薄れており、犯罪防止機能の低下が懸念されています。館山市では、館山市防犯協力会を中心とした自主防犯活動が行われており、防犯パトロールや、町内会による防犯灯の設置等を支援しています。市民一人ひとりの防犯意識と地域の防犯力を高め、「犯罪が発生しにくい環境」をつくることで、犯罪を未然に防止することが重要です。

基本方針

- 交通安全施設の整備と交通安全ルールの徹底により、交通事故の防止を図ります。
- 自主防犯活動の強化支援及び関係機関との連携により、地域の防犯力を高めるとともに、犯罪の未然防止に努めます。

施策の体系

交通安全・防犯体制の強化

交通安全・防犯体制の強化

施策の展開

(1) 交通安全・防犯体制の強化

計画事業名	事業内容	担当課
交通安全対策の推進	交通危険箇所等の点検を行い、必要な安全施設の整備・修繕を進めるとともに、交通安全教育による交通ルールの徹底に努めます。	社会安全課
自転車駐車場維持事業	駅周辺の自転車駐車場の整理を行うとともに、自転車利用マナーについての意識啓発を図り、歩行者・自転車利用者・ドライバーそれぞれの安全と良好な通行環境の確保に努めます。	社会安全課
防犯環境整備事業	館山市防犯協会を通じ、防犯パトロールや町内会の防犯灯の設置及びLED化等への支援を行います。 また、関係機関と連携して、防犯活動を行うとともに、犯罪の発生しやすい場所への防犯カメラの設置等により、犯罪の未然防止に努めます。	社会安全課

成果指標・目標

指標名	現状値	目標値
交通事故発生件数	211 件	160 件
犯罪発生件数	384 件	270 件



第 4 節 消費者保護対策の推進

現状と課題

- 情報通信技術（ICT）の飛躍的な進歩や消費にかかわる価値観の多様化等に伴い、消費者問題も複雑多様化しています。消費生活に関する相談件数は年々増加しており、消費者トラブルを未然に防止するためには、消費者への意識の啓発が必要不可欠です。また、一人暮らしの高齢者を狙った詐欺など、悪質・巧妙化した犯罪被害が増加しています。犯罪の手口は急速に変化していくため、必要な情報をすばやく効率的に、周知徹底することが求められています。
- 食の安全性や環境問題など、消費者の関心は多岐にわたっており、きめ細かい対応が求められています。

基本方針

- 消費者生活相談の充実を図るとともに、トラブルを未然に防止するための消費者教育や情報の周知徹底に努めます。
- 立入検査による生活用品の安全性の確保や商品表示の適正化に努めます。

施策の体系



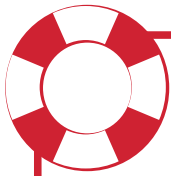
施策の展開

(1) 消費者保護対策の推進

計画事業名	事業内容	担当課
安全・安心な消費生活の確保	消費生活相談員を配置し、関係機関と連携して消費者トラブルの解決を図るとともに、消費者教育や情報の周知徹底により、トラブルの未然防止に努めます。 また、立入検査による生活用品の安全性の確保や商品表示の適正化に努めます。	社会安全課

成果指標・目標

指標名	現状値	目標値
消費者問題にかかる啓発活動の実施回数	13 回	18 回



館山のまちづくり作文コンクール入選作品

<中学生の部>



国際化と館山市

第三中学校二年 高橋 優太
たかはし ゆうた

二〇二〇年に東京オリンピックが開催され、都心に近い館山市にも外国人観光客が増えるだろう。そこで僕は外国人観光客に優しい観光地にすること、それに加えて館山市をインターネットを通じて世界中に発信していくことを望む。

具体的には市内の観光スポットの展示パネルやパンフレットに外国語表記を加えることや、館山市の歴史や自然を破壊しない程度で外国人の文化や習慣に合ったまちづくりをすることである。例えば、宗教を信仰している人に対して、礼拝が行えるスペースを提供することや背の高い外国人に対して快適に過ごせるように、ホテルや旅館を整備することなどである。

また、館山市を世界中に発信するというのは具体的に市のホームページに様々な国の言語を加えることである。また、市内の写真や

動画を海外向けに発信することである。そうすることによって多くの外国人に館山を注目してもらえらると思う。そして訪れた人々が館山市のことを発信してくれば、宣伝の輪が大きくなっていくだろう。

けれども、前文で述べたように、テーマパーク等の娯楽施設の建設など、館山市の歴史や自然を破壊するようなことは、絶対あってはいけないと思う。この市には、館山城や沖ノ島など、言葉や文化の違う外国人でも感動できる場所はたくさんある。大切なのは、そういった場所を、いかに世界に発信できるかだと思う。

僕は、これから数年後の東京オリンピックで、館山市が他の観光地に負けずに、たくさん外国人をおもてなしできるようにすることを期待したい。また、館山市民の一員としてゴミ拾いや市民の団体に募金することなど、今からでもできるような活動から始めていって、観光地である館山市のこれからの発展に貢献していきたいと思う。

※学年は平成 26 年度時点